

## 湯殿山山行報告

【山行日】2022年1月16日(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 7:00

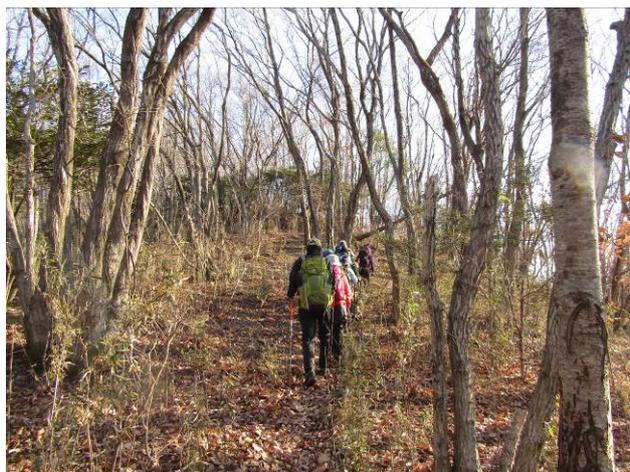
【費 用】マイカー1台 : 700円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、植竹、大塚、  
嶋田、島田、関、福田夕、藤原ト

【コースタイム】岩舟支所P7:00=彦谷自治会館  
P7:40/7:55~東登山口 8:10~雨沼 8:45/8:55~  
栗谷分岐 9:40~湯殿山 9:55/10:15~送電鉄塔  
11:15/11:45~西登山口 12:20~彦谷自治会館P  
12:20/12:30=とりせん 12:40/13:00=  
岩舟支所P13:30



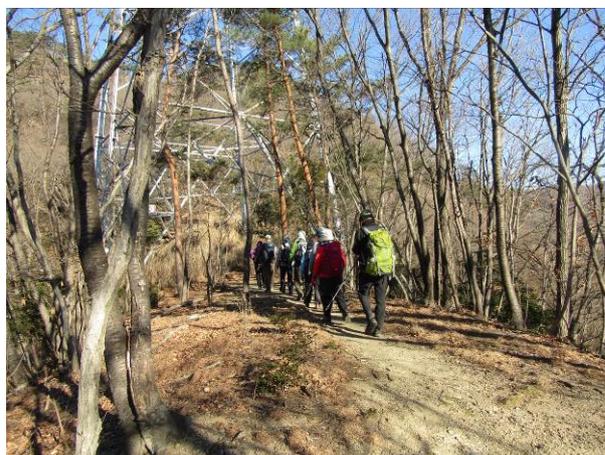
今日は毎年恒例の鎌倉初詣ハイクの予定だったが、コロナ感染が激増しているため、県内の湯殿山に変更した。岩舟支所を7時に出発し、足利市の彦谷自治会館の駐車場に車を止める。準備を整え自治会館裏のトイレをお借りし、ストレッチを済ませて出発する。



自治会館前の道路を左に進み、十字路を案内標識に従って直進して道なりに進む。山際の道路を進むと右手に農業用ため池があり、少し先の左手に新東登山口標識がある。薄暗い谷沿いの登山道を登り、山腹を巻くように左に登って行くと展望が良い尾根に出る。標識やベンチがあり、小休止して衣服調整を行う。穏やかな登山日和に恵まれて、皆さん上衣を脱いでスタートする。樹間から冠雪の浅間山が見え、皆さんから歓声が上がり軽快に登って行く。間もなく天池山に着き、昔雨乞いをした

場所らしい。今は動物たちのヌタ場になっており、イノシシや狸の楽園となっているようだ。

快適な尾根歩きが続き、カタクリ群生地の案内板があると鉄の階段状の道を登って行く。やがて送電塔が立つピークに出て、少し下って登り返すと岩場の登りになり、右に巻道も付けられている。岩場の急登が苦手な2名は巻道を進み、残りの7名は岩場の急坂を登って行く。ペンキマークに沿って登れば問題なく、ほんのひと登りで三角点が置かれた湯殿山山頂に着く。山頂からの展望は素晴らしく、展望を楽しみながら巻道の2人を待つ。2人が到着し一息いたら尾根を左に進み、小さな祠が並ぶ岩場が現れる。



出羽三山を模して羽黒山、湯殿山、月山が祀られているようだ。さらに岩尾根を登ると展望が良いピークに出てベンチがあり、その先に湯殿山神社が置かれこちらが最高点のようだ。ベンチで休憩



を取り、展望を楽しみながらトマトや菓子をいただく。南側の展望が良く、富士山や都心のビル群やスカイツリーが望める。初めて登った方達は「こんな低山でも素晴らしい景色が見られるんですね」と感動していた。湯殿山神社前で記念写真を撮り、西登山口に向かって下山開始する。登ってきた東側の登山道よりなだらかな尾根で、石尊山から深高山の尾根を見ながら下って行く。ザレた岩場の下りが出てくるが、短いので慎重に下れば問題なく下れる。アップダウンを繰り返

しながら明るい尾根を進み、雪化粧した浅間山や赤城山が疲れを癒してくれる。しばらく進むと送電塔が見えて来て、中山登山口への分岐に出る。分岐を直進するとすぐに送電塔への階段があり、階段を登って送電塔が立つピークでランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、しもつかれやカラアゲ等が並び豪華なランチをいただく。お腹が満たされたら下山開始し、階段を下って登山道を左に下る。間もなく基地局のアンテナが建つ広場に出て、左に広い林道を下って行く。舗装道路に出ると西登山口の標識があり、道路を横切った先に彦谷自治会館がある。自治会館では地元の子供会の行事があったようで、大勢の子供と親たちが庭先に居た。我々の車は会館の玄関脇に止めたので、何か言われるかなと思ったが、何も言われることなくホッとした。急いで靴を履き替えて、車に乗って急いで出発する。途中、いつものスーパー「とりせん」に寄り、トイレを借りて買い物し予定より1時間早く岩舟支所に帰着した。

